開会挨拶　8：50〜9：00

プレナリーセッション　9：00〜9：50

座長：門脇　則光(香川大学医学部　血液・免疫・呼吸器内科学)
　　青木　一教(国立がん研究センター研究所免疫創薬部門)

演者：「がん治療用 HSV-1 の遠隔効果は形質細胞様樹状細胞の活性化を必要とする」
　　内田　俊平(香川大学医学部　血液・免疫・呼吸器内科学)

「包括的な抗腫瘍免疫の増強に向けた細胞融合型腫瘍溶解性ワクシニアウイルスへの免疫賦活化遺伝子 IL-15 導入」
　　板谷　　華(鳥取大学医学部　ゲノム再生医学講座　ゲノム医療学分野)

「膠芽腫に対する G47Δ 投与後の遅発性腫瘍縮小効果の予測」
　　田中　　実(東京大学医科学研究所附属病院　脳腫瘍外科)

「免疫賦活化遺伝子と細胞融合能を併せ持つ腫瘍溶解性ワクシニアウイルスによる膵臓癌の免疫抑制性腫瘍微小環境の改変」
　　中武　大夢(鳥取大学医学部医学科　ゲノム再生医学講座　ゲノム医療学)

スポンサードセミナー　10：00〜10：35

「腫瘍溶解性ウイルスを臨床へつなぐ CMC 開発：製造・品質の課題と経済性」
座長：西川路侑耶(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　遺伝子治療・再生医学)
演者：Ian Goodwin (Director, Technical Program Design, Viral Vector Service, Thermo Fisher Scientific)
共催：パセオン株式会社

シンポジウム　10：35〜11：35

座長：甲斐知恵子(帝京大学先端総合研究機構　危機管理研究部門
　　谷　憲三朗(東京大学医科学研究所)

演者：「次世代腫瘍溶解性ワクシニアウイルス FUVAC121 の開発と展望」
　　中村　貴史(鳥取大学医学部医学科　ゲノム再生医学講座　ゲノム医療学分野)

「がん治療用麻疹ウイルス MV-SLAMblind の第 1 相臨床試験」
　甲斐　知恵子(帝京大学先端総合研究機構　危機管理研究部門)

「前立腺癌に対する G47Δを用いたウイルス療法」
福原　　浩(杏林大学医学部　泌尿器科)

「IL-12 発現型がん治療用ウイルスを用いた悪性黒色腫に対する新規治療法開発」
奥山　隆平(信州大学医学部　皮膚科)

会員報告会　11：40～12：00

ランチョンセミナー　12：10～13：10
「病態から考えるアトピー性皮膚炎の治療戦略」
座長：奥山　隆平(信州大学医学部皮膚科学)
演者：中原　剛士(九州大学大学院医学研究院　皮膚科学分野)
共催：サノフィ株式会社

一般演題 1　13：15～13：55
座長：田中　　実(東京大学医科学研究所附属病院　脳腫瘍外科)
伊藤　博崇(東京大学医科学研究所附属病院　脳腫瘍外科)

演者：「可溶性 B7-1 発現型第三世代がん治療用 HSV-1 による舌癌リンパ節転移の抑制効果」
須河内昭成(大阪大学大学院歯学研究科　顎顔面口腔外科学講座)

「がん治療用 HSV-1 の抗腫瘍効果における感染・複製能の役割」
久保　博之(香川大学医学部　血液・免疫・呼吸器内科学)

「間葉系幹細胞を用いた増殖型レトロウイルスベクター送達による腹膜播種治療戦略」
福田（園田）　絵観子(兵庫医科大学 先端医学研究所 分子遺伝治療学部門)

「抗 VEGF 抗体発現型単純ヘルペスウイルスⅠ型の臨床開発」
伊藤　博崇(東京大学医科学研究所附属病院　脳腫瘍外科)

大会長特別企画　第 1 部　招請講演　14：00～15：20

座長：小戝健一郎(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　遺伝子治療・再生医学分野)

招請講演 1　14：00〜14：40

「日本を魅力ある臨床開発環境とするために
〜PMDA の取組みを中心に〜」

演者：藤原　康弘(独立行政法人　医薬品医療機器総合機構（PMDA）　理事長)

招請講演 2　14：40〜15：20

「日本成長戦略「創薬・先端医療」とその周辺」

演者：鳥井　陽一(内閣府　健康・医療戦略推進事務局　事務局長)

大会長特別企画　第 2 部　特別シンポジウム　15：30〜16：30

座長：福原　　浩(杏林大学医学部 泌尿器科)
　　中村　貴史(鳥取大学医学部医学科　ゲノム再生医学講座　ゲノム医療学分野)

演者：「単純ヘルペスウイルス 1 型を用いたウイルス療法の開発」
　　藤堂　具紀(東京大学　名誉教授)

　　「腫瘍溶解性アデノウイルスの開発」
　　小戝　健一郎(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　遺伝子治療・再生医学分野)

大会長特別企画　第 3 部　総合討論／パネルディスカッション　16：30〜17：00

一般演題 2　17：10〜17：50

座長：田口　　慧(東京大学医学部　泌尿器科)
　　中武　大夢(鳥取大学医学部医学科　ゲノム再生医学講座　ゲノム医療学)

演者：「4 種類の同系腫瘍モデルを用いた第三世代がん治療用 HSV-1 G47Δ の感受性を規定する腫瘍免疫環境の解析」
　　岩井美和子(東京大学医科学研究所　ウイルス療法開発寄附研究部門)

　　「膀胱癌に対する iPS 細胞由来樹状細胞と IL-12 発現型がん治療用 HSV-1 の併用療法」
　　田口　　慧(東京大学大学院医学系研究科　泌尿器外科学)

　　「サバイビン反応性腫瘍溶解性アデノウイルス Surv.m-CRA-1 の癌治療研究と再生

医学への治療応用」
久保田成美(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　遺伝子治療・再生医学)

「MIF-CD74 軸は、膵管腺がんの腫瘍微小環境における骨髄由来抑制細胞の浸潤を促進する」
青木　一教(国立がん研究センター研究所免疫創薬部門)

ポスターセッション　17：50〜18：40

演者：「皮膚癌に対する免疫刺激型 HSV-1 カクテル療法による治療効果増強」
中村　　瞳(東京大学医科学研究所　ウイルス療法開発寄付研究部門)

「次世代の免疫チェックポイント分子を標的とした抗体発現型抗がん HSV-1 の開発」
岩井美和子(東京大学医科学研究所　ウイルス療法開発寄附研究部門)

「膀胱癌に対する G47Δ と免疫チェックポイント阻害併用療法の有効性の検討」
大塚　智暉(東京大学医科学研究所　ウイルス療法開発寄附研究部門)

「 Antitumor Efficacy of an Oncolytic HSV Expressing Anti-CTLA-4 in a Hepatocellular Carcinoma Mouse Model」
Nguyen Van Khanh (Department of Hepatobiliary Surgery, Kansai Medical University)

「口腔・食道重複癌に対する第三世代がん治療用 HSV-1 を用いた新規治療法の検討」
日尾清太郎(大阪大学大学院歯学研究科　顎顔面口腔外科学講座)

「腫瘍溶解性麻疹ウイルスの増殖を促進するがん細胞内シグナル伝達経路の解析」
藤幸　知子(帝京大学　先端総合研究機構)

「頭蓋底悪性髄膜腫に対する腫瘍溶解性ヘルペスウイルスの治療効果と安全性の実証」
黒川　小春(大分大学医学部脳神経外科学講座)

「進行性/再発性悪性腫瘍の早期診断および治療における HPV 感染性の影響」
林　琢磨(国立病院機構京都医療センター)

「全身性抗腫瘍免疫を強力に誘導して原発性および転移がんを克服する合理的な 3 種併用の免疫遺伝子搭載型・腫瘍溶解性ウイルス療法」

西川路侑耶(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　遺伝子治療・再生医学)

「難治性疾患に対する増殖因子遺伝子治療とウイルスベクターの開発：
アデノウイルスベクターによる 1 型糖尿病治療」
松田恵理子(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　遺伝子治療・再生医学)

優秀賞授賞式・次会長挨拶・閉会挨拶　18：40～18：55